

事務事業名	観光等促進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	イベント観光課	イベント観光係	河村 章太

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る		
	めざす成果	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成03年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民、市外からの来訪者		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	1,221	12,648	17,190
	人件費	9,231	10,422	12,660
目 的	総事業費	10,452	23,070	29,850
本市の地域資源や魅力を効果的に活用・発信し、市外からの来訪と人々の活発な交流を促進するとともに、賑わいを創出します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・市民参加型の歌謡イベントを実施します。 ・イベントキャラクター「ヤマトン」を活用したPRを行います。 ・賑わいを創出する新たなイベントを実施します。	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	1,200		
	一般財源	15,990		
	合 計	17,190		

3. 活動内容

活動指標1	名称	歌謡イベント実施回数			単位	回
	内容説明	歌謡イベントの実施回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1	2	12	
		実 績	0	4	―――	
活動指標2	名称	SNSによる情報発信回数			単位	回
	内容説明	SNSを使用したイベント等の情報発信				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	120	120	120	
		実 績	116	136	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	イベントを円滑に運営するための取り組みをさらに推進するとともに、さまざまな媒体を活用して、イベントが持つ魅力を市内外に発信していきます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業に市が積極的に関与することで、市民の活力の向上とともに、交流人口の拡大を図ることができると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	現在の取り組みについて、さらに参加者を増やすことを検討する余地があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	主な事業費は、歌謡イベントの委託料であり、その予算額については精査した上で決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本事業で開催を予定していたイベントは、全市民を対象とし、概ね参加無料で開催したものであり、受益・負担の公平性は保たれてると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	広報やまと等の市広報媒体やSNS等の活用に加え、メディアに積極的に情報提供して情報発信をすることで、市民に加え市外の方にも市の観光等促進事業を周知できたと考えます。

事務事業名	イベント観光協会支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	イベント観光課	イベント観光係	河村 章太

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る		
	めざす成果	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成13年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市イベント観光協会		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	12,702	16,913	19,345
	人件費	8,933	7,444	5,958
目 的	総事業費	21,635	24,357	25,303
本市の観光行政の一翼を担う大和市イベント観光協会の運営を支援します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
手段、手法【実施手法：直営】 ・大和市イベント観光協会に対して補助金を交付します。 ・大和市イベント観光協会の運営や事業についての支援、助言を行います。	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	19,345		
	合 計	19,345		

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金交付回数			単位	回
	内容説明	一年間に補助金を交付した回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1	1	1	
		実 績	1	1	— — —	
活動指標2	名称	定期監査、理事会、総会			単位	回
	内容説明	定期監査、理事会、総会に出席した回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	3	3	3	
		実 績	3	3	— — —	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			— — —	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	大和市イベント観光協会が安定的に運営できるよう支援を行うとともに、市の魅力をさらに市内外に伝えるための取り組みや情報発信ができるよう、協会と引き続き協議し、検討していきます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	大和市イベント観光協会は、本市の観光事業の振興と発展を目的に、市がその設立から関わってきた団体であるため、今後も継続的に市が関与する必要があると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	フィルムコミッション事業については、都市近郊のロケ地であることのPRに加え、制作会社等からの相談等に丁寧に対応することにより、さらに成果を上げることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業費は、大和市イベント観光協会の予算書及び事業計画を精査した上で決定しており、事業を円滑に運営する必要経費として適正な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本事業で支援する大和市イベント観光協会は、市全体の魅力アップやイメージアップへの貢献を考えて事業運営をしており、受益・負担の公平性は保たれていると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	大和市イベント観光協会の各種事業について、広報やまと等、市の広報媒体やSNS等の活用のほか、各種メディアを通じた情報発信により、市民に加え市外の方にも市の魅力を伝えることができたと考えます。

事務事業名	観光イベント支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	イベント観光課	イベント観光係	河村 章太

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る		
	めざす成果	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成03年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
各観光イベントを主催する実行委員会		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	0	2,000	3,465
	人件費	2,978	2,978	3,724
目 的	総事業費	2,978	4,978	7,189
各観光イベントを主催する実行委員会の運営を支援します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		3,465
		合 計		3,465
手段、手法【実施手法：直営】				
・市内で行われる観光イベントの主催者に対して、補助金を交付します。				
・各観光イベントを主催する実行委員会への参画や開催				

3. 活動内容

活動指標1	名称	実行委員会等出席回数			単位	回
	内容説明	市職員が実行委員会等準備会に出席した回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	38	38	38	
		実 績	18	22	―――	
活動指標2	名称	補助金交付件数			単位	件
	内容説明	補助金を交付した件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	4	3	4	
		実 績	0	1	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	今後も、市全体を賑やかにする各種イベントを円滑に運営するための取り組みを推進するとともに、さまざまな媒体を活用して、これらのイベントが持つ魅力を市内外に発信していきます。					
	【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、市内外から多くの人を集める魅力的なイベントを円滑に運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与することで、市民の活力の向上や交流人口の拡大をより一層推進することができると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	－	－	B	新型コロナウイルス感染症の影響があり、令和4年度は神奈川大和阿波おどりのみが開催されました。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	市全体を賑やかにする観光イベントに対する補助金であり、その額については事業計画等を精査した上で決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である。
	－	－	A	市全体を賑やかにする観光イベントに対する補助金であり、その受益・負担の公平性については適正だと考えています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	－	－	A	イベント開催時には、広報やまとははじめ市の広報媒体を使って広く情報提供し、多くの市民の参加を図っています。

事務事業名	大和市民まつり支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	イベント観光課	イベント観光係	河村 章太

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る		
	めざす成果	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和53年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
大和市民まつり実行委員会		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	1,436	2,060	11,500
	人件費	7,444	8,188	9,681
目 的	総事業費	8,880	10,248	21,181
大和市民まつり実行委員会の運営を支援します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		11,500
		合 計		11,500
・大和市民まつり実行委員会に対して、補助金を交付します。 ・同実行委員会の総括事務局として、まつり全体の運営を支援します。				

活動指標1	名称	実行委員会・部会等開催回数			単位	回
	内容説明	役員会、実行委員会、6部会の開催回数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	25	25	25	
		実 績	17	13	――	
活動指標2	名称	イベント実施日数			単位	日
	内容説明	イベントの実施日数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	0	0	――	
活動指標3	名称	出店数			単位	店
	内容説明	市民まつりに参加した市民団体等の出店数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	330	330	330	
		実 績	0	0	――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅰ：現状のまま継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続
	・今後も、市民まつりが円滑に開催され、多くの市民に愛されるイベントとなるよう、実行委員会の運営支援を継続していきます。 ・令和4年度は市民まつりが中止になりましたが、代替企画としてオンライン企画を開催しました。 ・今後について、再度オンライン開催に向けた検討を行う一方、コロナ禍の中でも実際に会場で行うことができるようになった場合の開催方法についても、調査・研究が必要となります。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					